全国講演会（岐阜 2007）の開催にあたって

岐阜 2007 実行委員長

山下 新太郎

Message of the Chairman at the Opening of Gifu 2007

Shintaro YAMASHITA

この度、可視化情報学会全国講演会を岐阜大学にて開催する運びとなりましたこと、誠に光栄の至りに存じます。岐阜大学は日本各地に数多ある国立大学（正確には国立大学法人大学）と同様、戦後の国立大学設置法によっていくつかの師範学校、専門学校が包括・統合されてできあがったもので、現在5学部からなる総合大学です。大学設立当初からしばらくは各学部は各務原市と岐阜市内に散在していましたが、1981~1984 年にかけて医学部を除く全学部が現在の岐阜市柳戸地区に移転しました。医学部と付属病院はその性格上長らく岐阜市内の中心にありましたが、2004 年にこの地区に移転を完了し、漸くここに一大知的拠点形成しているかの如き外観を呈するに至っております。

大河ドラマ風にいえば、「その時、歴史が動いたまち」岐阜は正に戦国英傑、道三、信長、秀吉が活躍した歴史上の檣舞台です。講演の合間に、あるいは講演会終了後にでも、岐阜の街を散策され、近代日本の幕開けに先鞭を付けた戦国英傑とその躍動に思いを馳せていただくのも一興かと存じます。

岐阜市より数十キロ東に位置する東濃地方（「新首都は東京より東濃へ」（死語？）の東濃です）はまた、日本のルネッサンスといわれる安土桃山時代に日本独自の陶芸文化が開花した地としても知られています。その伝統は連綿と引き継がれ、そこで生み出された作風 — 志野、織部、黄瀬戸など — を継承する陶芸作品が今も精力的に創作されています。講演会初日に行われる特別講演会では、陶芸界の第一人者である加藤幸兵衛氏に「やきものと酒道」というタイトルで比較的やわらかいご講演をいただくことになっております。ご期待下さい。

この度の全国講演会では、企画した4つのOS（「噴流現象を視きわめる」、「熱流動現象を視きわめる」、「航空宇宙の流れを視きわめる」、「環境を視きわめる」）に47件、一般講演（「渦の可視化解析」、「生体流れの可視化」、「流れの可視化技術」、「レーザー利用の可視化技術」、「PIV/PTV」、「可視化情報処理」）に42件の合計89件のご講演が予定されています。活発な議論と情報交換が行われることを期待いたします。講演会場では例年のごとく機器展示、資料展示も行っていますので、精々ご活用下さい。懇親会は学内にて行います。懇親会終了後には柳ヶ瀬の夜をお楽しみ下さい。なお、この季節には長良川伝統鵜飼も催されておりますので、参加を希望されている向きは是非楽しんでみて下さい。

最後になりましたが、この全国講演会を開催に漕ぎ着けたのはひとえに実行委員会委員（下記）の並々ならぬご尽力によるものです。また前回と前々回の全国講演会（それぞれ神戸大学、新潟大学）の資料を大いに参考にさせていただきました。関係各位には篤く御礼申し上げます。

全国講演会（岐阜 2007）実行委員会委員

安里勝雄、今尾茂樹、菊地 聡、小里泰章、児島利治、小林智尚（岐阜大）、新美智秀、廣田真史（名古屋大）、藤田裕一郎（岐阜大）、古川裕之（名城大）、三松順治、宮坂武志（岐阜大）、森 英男（名古屋大）、安田孝志（岐阜大）、山口浩樹、渡邊 崇（名古屋大）、山下新太郎（岐阜大・委員長）、井上古弘（岐阜大・幹事）